

宇宙開発と、医学・栄養学の架け橋を目指す “宇宙・医学・栄養学” 誌を創刊！

2019年10月に「宇宙・医学・栄養学」誌を創刊することとなりました。

気象予報やGPS、国際宇宙ステーション(ISS)での実験、さらには月探査・月面利用など人類に残されたフロンティアである宇宙は、本格的な利用の時代を迎えています。一方、宇宙は放射線が飛び交い、微小重力など、人類にとっては過酷な環境が立ちはだかっています。

宇宙飛行士が、安全・安心して、火星で活動するためには、宇宙環境により起こりうる疾患(いわゆる宇宙病)と考えられる骨粗鬆症、筋萎縮や放射線障害などを克服するには、医学、栄養学の進歩と支えが必須です。また、ここで得られた知見は、超高齢化社会における寝たきりや骨・筋萎縮、災害時の健康管理に応用ができます。

本誌は、ISSでのライフサイエンス実験を提案した二川健(徳島大学教授)を編集委員長にお迎えし、他に類を見ない、宇宙の医学・栄養学に関する貴重な学際的研究論文や総説論文を、宇宙の最新情報とともに掲載いたします。読者は、宇宙、医学、栄養学の研究者、医師、看護師、栄養士から食品・製薬メーカー、宇宙に関心のあるすべての方々を対象としています。

特に、次世代を担う方々からも投稿原稿を受け付け、誌上で議論できる場を提供したいと考えています。本誌の情報が、活力ある社会の創造に少しでも資することができれば幸いです。

ご期待ください。

2019年10月吉日
株式会社篠原出版新社

◇「宇宙・医学・栄養学」誌 概要◇

創刊	2019年10月18日(予定)
発行	年2回刊
定価	1,800円(+税)
判型	A4版
ページ数	100ページ
ISBN	978-4-86705-751-3
発行部数	4,000部
発行	株式会社篠原出版新社

(お問い合わせ先:E-mail:info@shinoharashinsha.co.jp)

企画協力 株式会社コンパス <http://www.compass-tokyo.jp/smn/>

(お問い合わせ先:E-mail:smn@compass-tokyo.jp)